

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
(平成21年8月末現在)

企業数 27社
雇用数 937人

沖縄発「中国株のパイオニア」と トータル金融ソリューションベンダー



ユニテッドワールドテクノロジー(株)
マーケティングリサーチグループ

仲村 盛風さん

Profile

安和出身・25歳。入社2年目。専門学校卒業後は印刷関係の仕事に就くが、語学力を磨くためにイギリスに留学。帰国後、語学力を活かせる仕事を探していたところ、UWT社に出会う。



ユニテッドワールド証券(株)
カスタマーサービスグループCSチーム

金城 隆太さん

Profile

居我出身・25歳。入社3年目。名桜大学国際文化学科卒業後、様々な社会経験を積む。株式投資への関心を高める。「常識は常に化する」を信条とする投資家の強い味方。

ユニテッドワールド証券株式会社

国内証券会社では初めて香港ドル決済を導入し、香港証券取引所と直結したリアルタイム取引の環境を2002年から提供。将来に向けて、投資家の皆様に中国株式がより身近なものに感じていただけますよう努めています

【設立】平成13年12月
【沖縄支店所在地】
名護市マルメディア館
【会社ホームページ】
<http://www.uwg.co.jp/>

ユニテッドワールドテクノロジー株式会社

【事業内容】
・運用管理サービス・保守サービス
・コーポレートアクション登録業務支援サービス
・金融関連アウトソーシングサービス
【設立】平成19年1月
【所在地】名護市マルメディア館
【会社ホームページ】
<http://www.uwt.co.jp/>



【本記事へのご意見・ご要望】
名護市政策推進部
金融・情報特区推進室
☎ 53-1212 内239
FAX 53-6210
✉ itf@city.nago.okinawa.jp

「中国株のパイオニア」そしてそれを支える「沖縄発、トータル金融ソリューションベンダー」

ユニテッドワールド証券株式会社(UW証券)は、高成長が続く中国の株式と利便性の高いオンライン取引を融合させたインターネット証券として、平成14年7月より金融特区・名護市で営業を開始しました。香港証券取引所に直結し、リアルタイムの取引を実現。香港証券取引所上場のほぼ全銘柄を取り扱い、現在では「中国株のパイオニア」として知られています。

その後、平成19年1月に、ユニテッドワールド証券グループのシステム開発・運用部門が分離・独立し、金融ソリューションベンダーとして、ユニテッドワールドテクノロジー株式会社(UWT)が新たに名護市で設立され、金融特区の第1号事業認定を受けました。

金融業界に飛び込んだきっかけ

——就職のきっかけは。
(金城さん・UW証券) 大学では英語を勉強したのですが、在学中に色々なアルバイトを経験しているうちに、株式投資に関心を持ったことが就職のきっかけとなりました。
(仲村さん・UWT社) 私はもともと服飾

の仕事に就いていたのですが、その後、留學と社会経験を兼ねてイギリスで2年間過ごしたので、沖縄へ戻ったら語学を活かせる仕事に就きたいと思っていました。はじめはアルバイトに入ったのですが、そのまま就職しました。

——入社当時の頃は。
(金城さん・UW証券) カスタマーサービスが必要なので、最初には外務員資格の取得が必須だったので、最初の1、2カ月間はそのため勉強もしながら、上司に電話の対応の基本を覚えてもらいました。
(仲村さん・UWT社) 私の業務では外務員資格は必須ではないのですが同等の知識が必要なのでスタッフは任意で資格を取得しています。入社時しばらくの間は、資格を持っていない社員は私だけだったので焦りながら早く合格できるように努力しました。

業務はいつも時間との勝負!

——業務内容について。
(金城さん・UW証券) カスタマーサービスのチームでは、電話とメールでお客様からの問い合わせや要望に対応しています。忙しいのは年末から3月半ばまでの確定申告の時期。この時期は1日で45件の対応に追われたことがあります。
(仲村さん・UWT社) 私が所属するマー

ケティングリサーチグループでは、英字で発表される香港企業の情報を翻訳し、お客様が必要とする情報を迅速に得られるよう努めています。1日でも手掛ける翻訳は多い時で約30件、中国の決算期は12月が多いので、アニュアルレポート(年次報告書)が公開されるので3月から4月ほどとても忙しいです。

ストレスを防ぐ「働きやすい職場」

——金融関連業務はストレスが多いのでは。
(金城さん・UW証券) 会社の雰囲気は一言でいえば「働きやすい」です。社員がお互いをフォローし合っていて、足を引っ張るようなことがない。
(仲村さん・UWT社) まず会長がどこもフレンドリーな人です。1、2カ月毎に沖縄へ来るのですが、そのたびUW証券とUWT両社のスタッフで懇親会ができて楽しいです。

——今後の抱負は。
(金城さん・UW証券) 経済の流れの中で「常識」はいつも変化しています。敏感に変化を察知してお客様のお役に立ちたいですね。
(仲村さん・UWT社) 収集した情報をお客様に提供しつつ、将来的に独自の情報発信もできるよう考えていきたいと思っています。



株式会社若草印刷
名護事業所

東江康志さん

Profile

(株)若草印刷の名護事業所の立ち上げメンバーの一員として平成20年6月に入社。趣味は野球。名護市大東出身の22歳。

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
(平成21年9月末現在)

企業数 26社
雇用数 940人

「紙」というメディアの色褪せない価値と魅力

スピードと正確さが問われる仕事

入社後の研修は、

(東江さん)専門学校で学んだ知識を活かして、パソコンを使った仕事に就きたいと思っていたところ、当社(株)若草印刷の名護事業所が開設されることを知って面接を受けました。

現在の業務について、

(東江さん)県外の薬局やスーパーなどの顧客が当社に発注したチラシ作成の業務です。名護事業所では、主にチラシに記載される商品名と金額などの文字データを入力する作業を行っています。

業務で特に気を遣う点は、

(東江さん)顧客から届く文字情報を最初に扱う部署ですので、まずはデータ入力が正確に行われることが重要です。校正のプロセスは、初校は名護事業所内、次に本社(群馬県)の校正事務、さらにクライアント側による校正と、何度もチェックされます。

お仕事のスケジュールは、

(東江さん)名護事業所の営業時間は午前8時半から午後5時30分迄ですが、本社の方は24時間体制で業務を行っています。データのやりとりは自社サーバー上で行われますが、基本的に、名護事業所に仕事が終わってきたら、早めに、本社にデー

タを返すようにしています。

朝は毎日ミーティングから始まり、スタッフ全員でその日の入稿予定を確認し、仕事の割り振りをします。顧客はそれぞれに独自の様式やスタイルの希望があるので、顧客別に担当が決まっていますが、作業はチームで進めます。年末や連休の約2週間前が当事業所の繁忙期にあたります。

本社(上司)からの指示や連絡方法は、

(東江さん)緊急の連絡は電話で行いますが、その他の細かい個別の連絡は、チャット(左記参照)を使うことが多いです。時間的に余裕のある連絡、記録に残したい事柄などはメールでやりとりします。

「チャット」とは?

パソコン画面上で筆談できる仕組みのこと。離れた者同士の短文のやりとり便利です。



[17:25]Aさん 校正が終わりました。
[17:39]Bさん 確認しました。
[17:39]Aさん 次の作業を開始します。
[17:51]Bさん 終わり次第連絡下さい。

研修で変わった「印刷」のイメージ

入社後の研修は、

(東江さん)採用後は、同期3名で、群馬県にある本社で2週間の研修を受けました。最初の1週間は、印刷の受注から納品までのプロセスを把握するため、各部署を見学しました。印象に残っているのは、写真班。たくさんある画像の中から最適なものを慎重に選ぶ様子を見て印刷という仕事についての印象が変わりました。他にも、事務処理をする部署が非常に忙しそうだったのが印象的でした。

研修の後半は、実際に専用ソフトを使いながら、原稿からデータ入力を行う実技研修がありました。

今後の抱負は、

(東江さん)名護事業所からデータが上がらないと、本社の作業が進められませんが、業務をスピードアップさせながら、本社に「名護事業所を開設してよかったな」と思ってもらえるよう頑張りたいと思っています。また、事業所を訪問される学生の方々に印刷に係わる全行程を分かりやすく説明できるようにするため、私自身も業務への理解を深めていきたいと思っています。

どうもありがとうございました。

株式会社若草印刷 名護事業所

【主な事業】

商業広告全般の企画・デザイン・撮影・制作から印刷・加工までの総合印刷事業。

【会社沿革】

昭和39年、群馬県下仁田町にて創業(本社の現所在地は富岡市黒川)。平成20年、名護事業所開設。

【名護事業所の所在地】

名護市宇豊原224番地3

【会社ホームページ】

http://www.wakakusa.ne.jp/



【本記事へのご意見・ご要望】

名護市政策推進部
金融・情報特区推進室
☎ 53-1212 内239
FAX 53-6210

✉ itf@city.nago.okinawa.jp

お知らせ

豊原の金融・IT企業
が見学できます!

11月15日(日)に久辺テクノフェスタが開催されます!

(詳細についてはP5をご覧ください)

安藤証券株式会社 沖縄営業所がオープン!

ANDO SECURITIES CO., LTD.

金融ビジネスの最前線 「社員が主役」

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
(平成21年10月末現在)

企業数 26社

雇用数 956人



安藤証券株式会社 沖縄営業所 オープニングセレモニー

テープカット(左から)安藤証券株式会社取締役社長・安藤敏行氏、
沖縄県副知事・安里カツ子氏、島袋吉和名護市長。

「沖縄への進出理由を聞かれるたび、私はよくシンガポールへ向かう途中、飛行機の

集中ではなく分散の時代

安藤証券株式会社は、明治41年に、愛知県名古屋市中区にて同社の前身である安藤商店として創業。百年以上の歴史を持つ長寿企業として着実な歩みを進げながら、時代に合った変化を取り入れ、日本の証券会社で初めてFX(外国為替証拠金取引サービス)に進出。現在は外国債券から、SGX・CMEの日経225先物取引まで幅広く取扱っている。平成18年には資金運用・バックオフィス業務等の受託を行う美らヒルズ・マネジメント株式会社を関連子会社として設立した。

本年10月には、名護市豊原にある特区施設「みらい3号館」にて、安藤証券株式会社沖縄営業所のオープニングセレモニーが開催され、沖縄県副知事安里カツ子氏をはじめとする来賓より祝辞がのべられたほか、4年前から本社にて研修と実務経験を積んできた地元採用の社員らが紹介された。



9月から営業を開始したトレーディングセンター。来年はインターネット・サポートセンター、コールセンターなどの業務の一部も本店から移管される予定。

約30名のスタッフ体制を確立する予定。将来

沖縄進出構想の着手は9年前

同社が沖縄進出について検討を始めたのは9年前。今回の営業所開設に向けて、4年前から県内で採用活動を続け、来年度にかけて約30名のスタッフ体制を確立する予定。将来窓から見たら沖縄が真下にあったからこと考えています」と、ユーモアたっぷりの挨拶をした安藤証券株式会社取締役社長の安藤敏行氏。同社の新たな拠点となる沖縄営業所は、沖縄県が大型地震の被災リスクが小さく、将来的にはアジアに向けたゲートウェイとなる可能性があり、また24時間体制でのトレードニングや災害バックアップ拠点として最適な場所であると判断されて開設が決まった。安藤社長は「海洋リゾート型のプライベートバンクビジネスが沖縄で成功する潜在性を強調しつつ、これからは金融ビジネスの最前線が沖縄で可能になる。それを沖縄で採用された地元社員が引っ張っていく」と述べ、現在すでに業務に就いている社員らを式典参加者に紹介した。

安藤証券株式会社の会社概要

[本店所在地]	愛知県名古屋市中区錦 3-23-21
[創立年月]	昭和19年4月(創業:明治41年3月)
[資本金]	22億8,000万円
[代表者]	代表取締役会長 安藤正敏 代表取締役社長 安藤敏行
[事業内容]	金融商品取引業
[従業員数]	371名(2009年3月末)

【沖縄営業所について】

[所在地]	名護市字豊原181番地みらい3号館
[営業開始日]	平成21年9月7日
[取扱業務]	<ul style="list-style-type: none"> ●エクイティ・トレーディング業務 ●インターネット・サポートセンター業務 ●コールセンター業務



今日の主役は彼らです!と安藤社長から紹介された沖縄営業所のスタッフ。全員が県出身の若手ホープ達だ。22年度採用の内定者も決まっており、沖縄営業所はさらに拡大する予定。

的には「一五〇人規模の拠点にする計画がある。私は、実は土木工学の専攻で大学院まで進んだのですが・・・」と苦笑しながら話してくれた新頭清太さんは平成18年に採用された。沖縄採用組の第一期生。周囲の反対を押し切って進んだ金融マンとしてキャリアで既に「サブマネージャー」の肩書を持つ。

祝辞を述べた安里副知事は「立派な会社に採用され、それぞれの力を発揮して欲しい」と若手中心の沖縄営業所勤務の社員にエールを送った。



おきなわ証券株式会社
名護営業所
川添綾乃さん

Profile

沖縄国際大学卒業。平成19年4月入社後、那覇の本店に勤務。今年10月より名護営業所に配属され、約250名の顧客を担当している。名護市出身の25歳。

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
(平成21年10月末現在)

企業数 26社
雇用数 940人

「気軽に立ち寄れる」 沖縄唯一の地元証券!

おきなわ証券株式会社 名護営業所

【業種】金融商品取引業者
【設立】1960年6月10日
【資本金】6億2820万円(払込資本金)
【発行株数】5,676,400株
【役員員数】118名
【名護営業所所在地】名護市宇茂佐1227

<PR> 北部地域での拠点として、御客様の資産運用アドバイスに、気軽にお越しいただけるよう対面方式で、ご案内申し上げております。沖縄県北部地域での証券の普及に貢献できるような、活動をめざしています。



県内8カ所に拠点を持つおきなわ証券。名護市には平成15年に営業所を開業。



店内には株簿等を顧客が自由にチェックできるコーナーが設けられている。

地元の
地元による
地元のための
証券会社



はじまりは「会社訪問」

就職のきっかけは。

(川添さん)大学3年の秋から始めた就職活動の一環として会社訪問でおきなわ証券の那覇の本店に行ったことが入社のきっかけになりました。金融機関なのに、ピリッとした職場だろうと予想していたのですが、実際の雰囲気はとても温かくて、金融機関に対するイメージが変わりました。また、その時の経験から、大事なお金を扱う仕事に私も就きたいと考えるようになりました。

入社後の研修、業務について。

(川添さん)入社後は、まず那覇の本店で、約一カ月の研修があり、様々な分野の講習を受けました。上司や先輩が講師を務め、業務に就くために必要となる証券外務員の資格を取れるよう、私を含め3名の新規採用者をとても丁寧に指導してくれました。

研修後、私は本店一課という部署に配属され、窓口業務を含む営業の仕事に就きました。私が入社した平成19年は、ちょうど株券の電子化が一気に進められた時期と重なり、お客様からのお問い合わせも多く、いわゆる「タンス株」を電子化する手続き等にも携わることができて、幅広く色々な事を学ぶ事ができて幸運だったと思います。

今年の10月から、名護営業所に配属になり、約250名のお客様を担当しています。

「一人で考え込まない」が 仕事を続ける秘訣

仕事のストレスは。

(川添さん)この業界は、市況に揺れるのが特徴です。例えば、サブプライムローン問題に起因して利益の取れないお客様にどう説明すればいいのかわからず、フアローやケアの仕方について悩んだ時期もありました。その時は、先輩や上司が親身になって相談ののってくださり、本当に助けられました。電話や、会って話す時間をとってくださったり、一緒に飲みに行ったり(笑)と、社内のコミュニケーションがとれることも、今まで仕事を続けてこれた理由だと思います。

とにかく自分の考えだけに捉われずに、上司や先輩に相談することが大切だと思います。色々な意見を聞いてこそ、トラブルを乗り切っていくのではないのでしょうか。

変動の多い業界ですが。

(川添さん)そうそう、外の風景はいつもと変わっていないのに、社内に入ると全く違う世界になっている。文字通り「天」と「地」ほどの差を感じる事があります。こういう市場の動きに、自分を合わせられることが、この仕事ではとても大事だと思います。

また、土日・公休日はしっかり休めますので、オフの時は仕事のことは忘れて(笑)友人と楽しく過ごしています。メリハリを

つける事は大事ですね!

今後の抱負について。

(川添さん)私を通じておきなわ証券という地元証券を北部のお客様にアピールしていきたいと思っています。最近ではパソコンで出来る事も増えてきましたが、やはり人と人の対話を通してしか出来ないことでもあると思います。例えば当社では、株式投資以外にも、相続税対策など、幅広くご相談を受けながらお客様の資産形成に関わる提案をしています。また、経済ニュースを見て株式に興味を持ちながらも最初の一步が踏み出せないという方にとって、気軽に立ち寄れる、親しみの持てる地元の店舗として皆様の役に立てればと思います。



名護営業所のオフィス風景。仕事のことで一人ひとりで悩まずに上司や先輩からアドバイスしてもらったことが大切、と語る川添さん(写真左)



株式会社ジー・エム・ケー
SIビジネス部沖縄 小室裕樹さん

琉球大学卒業後、IT関連企業に就職。平成21年6月、幅広い種類のソフト開発を行う(株)ジー・エム・ケーに魅力を感じて転職。趣味はダイビング。愛知県出身・30歳。



金融・情報特区の企業と雇用
(平成21年12月末現在)

企業数 27社
雇用数 935人

「システム導入の全行程を自社で」

これまでとは違う仕事を

——転職のきっかけは。
（小室さん）琉球大学卒業後は、県内のIT企業で6年間勤務しました。その後、これまでとは違うタイプのソフト開発を手掛けたいという思いから、株式会社ジー・エム・ケーに転職しました。

GMK(ジーエムケー)の特徴は。

（小室さん）まず、GMKでは、最新のIT技術を中小企業の経営に役立ててほしいと考えておりますので、ITに不慣れな経営者の方でも安心してシステムを導入できるよう、コンサルティングに始まり、各種システムの設計・開発まで、すべての作業工程を一貫して自社で行っています。

また、当社が提供するソリューションは、地域企業、地域社会の様々なニーズや規模に対応できるよう、行政向けのシステムから、モノづくりの企業が活用できる生産管理システム、病院などの医療機関の機能に特化したホームページ管理ができる医療システムなど、幅広い種類の商品とサービスを展開しています。

さらに、ベトナム、マレーシアなどのアジア諸国にグループ会社を設立しています。

沖縄と群馬でチーム作業

業務について。

（小室さん）沖縄と群馬の2拠点にチームが分かれてシステム開発を行うかたちとなっています。沖縄では、チームリーダーとして私が一人でシステムの設計を担当しています。群馬では、私の上司と、プログラマー3人が勤務しています。

コミュニケーションが難しいのでは。

（小室さん）パソコンの前にカメラとマイクを置き、常時インターネットを使って、顔を見ながら声をかけあえる仕組みを整えているので、通常のオフィスと同じようにコミュニケーションが取れます。

毎朝、オンラインの打ち合わせで作業状況の確認をし、プログラマーへの指示や彼らからの相談も、いつも直接やりとりできるようになっています。1日の終わりは、本社(群馬)の上司にオンラインで報告を行って業務終了となります。

——入での作業はストレスが溜まるのでは。
（小室さん）ITの仕事経験が長いので、それほど違和感はありません。また、スタッフについては増える予定です。開所当初から募集しているのですが、中途採用で経験

株式会社 ジー・エム・ケー

【業務内容】

システムコンサルティング/インテグレーション(SI)、e-ビジネスモデル企画・制作、ソフトウェアシステム開発/保守受託、ホームページ制作、コンテンツプロバイダー、各種LAN配線敷設工事、特定労働者派遣事業

【従業員】54名

【設立】1986年7月24日

【本社】群馬県伊勢崎市

【ホームページ】

<http://www.gmk.co.jp/>

GMK 沖縄

2009年10月14日に、株式会社ジー・エム・ケーの支社として、新たに「GMK 沖縄」が名護市マルチメディア館に開所。ソフト開発業務を主な業務とし、株式会社ジー・エム・ケーの「SIビジネス部 沖縄」が置かれている。

【所在地】名護市豊原 224-3



群馬にいるスタッフと連絡を取るためにPC前に置かれたカメラとマイク。

者を探しているのでは、なかなか仲間が増えません。沖縄の場合、IT企業で即戦力になる中堅の人材が不足しているようです。名護はITインフラが整備されているので、あとは人材育成・確保が課題だと思います。

——今後の抱負について。

（小室さん）当社が沖縄に進出した理由の一つは、ソフト開発業務を拡張しつつ、沖縄からアジアへの事業展開を図りたいという期待があったからです。今後は、その実現と、当社の特徴である一貫したシステム設計・開発を沖縄の地元企業向けに行っていく必要があると思います。

——ありがとうございます。



株式会社ドルーグ
技術開発制作グループ
マネージャー
具志堅好一さん

ボウリング好きが高じてボウリング場の機械整備の職に就くもDTP デザインの世界に触れ、IT業界への転職を決意。離職者向け職業訓練でWeb制作コース修了後、Web担当として販売会社に再就職。その後、より制作に特化した職場を求め、2005年に株ドルーグに入社。37歳。

特区で働こう!

金融・情報特区の企業と雇用
(平成22年1月末現在)

企業数 28社
雇用数 937人

より早く より的確に 顧客が望むものを創る

株式会社ドルーグ

DROOG Inc.

【事業内容】

- ・アフィリエイトプロモーション事業
- ・アウトソーシング事業
- ・web制作事業
- ・受託開発(効果測定システム)事業

【設立】2005年1月

【本社】名護市豊原224-3

名護マルチメディア館

【ホームページ】

<http://www.droog.jp/>

ざっくり解説 アフィリエイトとは?

従来は「広告」といえば雑誌や新聞に載るものが連想されましたが、インターネット上で多くの情報発信サイトが開設される中、一般のホームページや個人のブログなどに広告案内(バナー)を載せ、他社のホームページへ誘導するなど、広告主の宣伝や売上に貢献する仕組み「アフィリエイト」という新たな広告の手法が広がっています。その特徴は、単に広告を掲載するのではなく、自分のホームページから広告主のページへ案内した事をきっかけに、広告主に利益をもたらすことで歩合制の報酬を得るところです。しかし、広告主と掲載者が直接契約を交わすことは稀で、ほとんどの場合、「ASP(アフィリエイト・サービス・プロバイダー)」と呼ばれる仲介企業を通して取引が行われる事が一般的です。大々的な宣伝活動を展開する広告主は、複数のASPを利用する場合もあります。さらに、このようなアフィリエイト・ビジネスを、様々な側面からサポートする新しい技術・サービスが日々開発されています。

「仲間(droog)」
と共に、新たな
社会価値を
創造する



— ありがとございました。 —
仲間でも発揮しながら、顧客に満足していただけるサービス、商品の提供を行っていただければと思っています。

要望を吸い取るイメージ力

— 名護で行われている業務は、

(具志堅さん)名護では主に、東京の営業部隊が受注したウェブ制作の業務と、当社の「アドチャンプル」というプログラククトに付随する集計業務を行っています。その他、モバイル・コンテンツ制作の実績もあります。

— 30代でIT業界へ転職した感想は、

(具志堅さん)離職者向けの職業訓練を受けた頃はパソコン初心者の状態で、ITの仕事に就くには遅すぎるかなとも思ったのですが、再就職先でサイト管理の業務経験を一年半積めたこと、そしてドルーグ入社後に制作したWebページが顧客に評価されて再注文が続いていることなどが励みと自信につながっています。画像ソフトなどの技術的な知識はほぼ独学で習得しました。

しかし、広告を目的としたバナー制作やキャンペーン・ページの制作は、それを創るツールが手く扱えるかどうかよりも、出来あがったものに顧客が満足するかどうか全てです。そういう意味では、顧客がどのようなものを望んでいるのか、的確にイメージを吸い取る事ができることが重要

業界初の「ワンタグシステム」

— 主力商品「アドチャンプル」について、

(具志堅さん)インターネット上で大規模な広告展開を図る広告主は、これまでは非常に煩雑な処理を繰り返しながらアフィリエイト(左記参照)を個別に管理するしかありませんでした。そこで当社では業界初となる「ワンタグシステム」を導入した包括的な管理ツール「アドチャンプル」を提供することで、広告主の作業負担を減らし、さらに即座に広告効果を全体的に把握できる仕組みを実現しました。この「アドチャンプル」の上位商品では、40のアフィリエイト事業会社と80万もの提携サイトとの連携ができるようになっていきました。

— 今後の抱負について。

(具志堅さん)現在の業務の受注については東京の営業部隊の動きに頼っているところが多いのですが、今後は沖縄でも営業活動を活性化させて、売り上げアップを目指したいと考えています。



【写真】「ドルーグ」という社名が持つ意味は「仲間」。マルチメディア館内にあるオフィスもカンパニーカラー「オレンジ」に部屋の色调が統一され、一体感を醸し出す。

その取り組みの一環として、「おきばたショップ」というオンラインショップの運営を行っています。沖縄の美味しくて質の高いフルーツや食材を全国へもって届けたい、というテーマで力を入れていた事業です。オンラインでマンゴーやタンカン、ジュース、スイーツ等を販売するショップで、担当のスタッフが農家をまわってお話ししながらネット販売にこぎつけました。現在、楽天内のショップとして稼働しています。

また、ウェブ制作についても、本土企業だけではなく県内企業からも業務を受注し、当社のPRポイントである「スピード感」を